

ID

患者氏名

様（性別）

身長cm体重kg年齢歳体表面積m²

HBs 抗原（+ -）HBc 抗原（+ -）HCV 抗体（+ -）

薬剤	投与量	投与日		1 コース 4 週間	
		1 コース目		2 コース目以降	
		Day 1・・8・・15・・22・・29		Day 1・・8・・15・・22・・29	
サークリサ	20 mg/kg	↓ ↓ ↓ ↓（毎週）		↓ ↓（2 週毎）	
デキサメタゾン （＝レナデックス、デキサート）	40 mg/body/週	↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓ ↓	

75 歳を超える患者ではデキサメタゾンを 20mg/body への減量を考慮

レジメンオーダー以外に必要な処方

カロナール（200）650～1000mg、ファモチジン（20）1 錠 サークリサ投与前
デキサメタゾン（内服） 40 mg/body 2 コース目以降の day8, 22（サークリサ投与日は点滴で投与）
必要時：アシクロビル、フェブリック、ダイフェン

注意事項

投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施してください
タムス試験に影響を与えるため、サークリサを投与することを検査科へ連絡してください（投与後 6 ヶ月は影響の可能性あり）
サークリサ：インフュージョンリアクション（アナフィラキシー、呼吸困難、咳嗽、悪寒、悪心など）に注意。
室温では混注 8 時間以内に使用終了すること

サークリサのルートにはフィルター付き輸液セット（ニプロフィルターセット STFPG-20BRCG）使用

サークリサ投与方法	
1	（ケモセーフ点滴セット不要） フィルター付きセットを使用 生食 100mL、メインルートをプライミング、ゆっくり（ルートキープ）
2	カロナール（200）650～1000mg、ファモチジン（20）1 錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 12A、ポララミン(5mg/1mL)1A、生食 50mL 15 分で、
4	生食 50mL、ゆっくり（ルートキープ）、15 分間、残破棄可
5	サークリサmg、生食、適量（250mL バッグ使用） 全量：250 mL×2 ◆◆2 つの生食 250 バッグにわけて調製◆◆ メインルートから 投与速度は次ページの別表を参照 開始前、速度変更時、終了時に体温、脈拍、血圧測定
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄